

壁面からの熱の侵入を遮り、
さわやかで快適な室内を実現します。

省工ネ外壁用 遮熱塗料

熱反射顔料&
特殊セラミック
配合

2液弱溶剤NAD系外壁用遮熱塗料

パラサーモ外壁用

COLOR SAMPLE

【第2版】



実績と信頼を誇る屋根用遮熱塗料の技術を応用——。壁面からの熱の侵入を遮断し、高い省エネ効果を発揮。快適な室内環境を創造します。

屋根の温度上昇を抑制するために日本特殊塗料が2001年夏に開発した省エネ屋根用遮熱塗料「パラサーモ」は、上市以来、多くの方々から好評をいただき、全国各地の工場や戸建住宅などで採用実績が相次いでいます。

このパラサーモに、当社の長年の外壁用塗料の経験と技術を応用したのが「パラサーモ外壁用」です。

パラサーモ外壁用は、パラサーモ同様、太陽光線に対する抜群の反射率と熱放射率に優れた2液弱溶剤NAD系アクリルウレタン樹脂上塗塗料。壁面からの熱の侵入を遮り、快適な居住空間を実現します。

また、24色の標準色を取りそろえ、戸建て住宅から工場などの大型建造物の外壁まで幅広くご利用いただけます。パラサーモ外壁用は、省エネルギーに貢献しながら心地よい居住空間を実現する、画期的な外壁上塗塗料です。



▲一本松中学校(外壁)【愛媛】

特長

1 抜群の遮熱性能を発揮します。

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料と、熱放射率に優れたセラミックを採用。当社独自の技術により、一般的な外壁用塗料と比較し、優れた遮熱効果を発揮します。外壁に塗ることで、外部からの室内への熱の侵入を遮断し、室内温度の上昇を抑えることができます。これにより、空調設備の省エネや光熱費の節約に抜群の効果を発揮するとともに、ヒートアイランド現象の抑制などにも貢献します。

2 優れた塗膜性能で美観を保持します。

強靱なウレタン結合により、酸性雨や紫外線および熱劣化の耐性に優れた、光沢のある塗膜を形成。高い耐久性で美観を長期間保ちます。

3 安全性の高い、環境に配慮した塗料です。

「NAD系樹脂」がベースのため、臭気がほとんどありません。周辺環境や作業者に配慮した、安全性の高い塗料です。また、弱溶剤系塗料のため、塗り替え適性にも優れています。

4 かびや藻の発生を防ぎます。

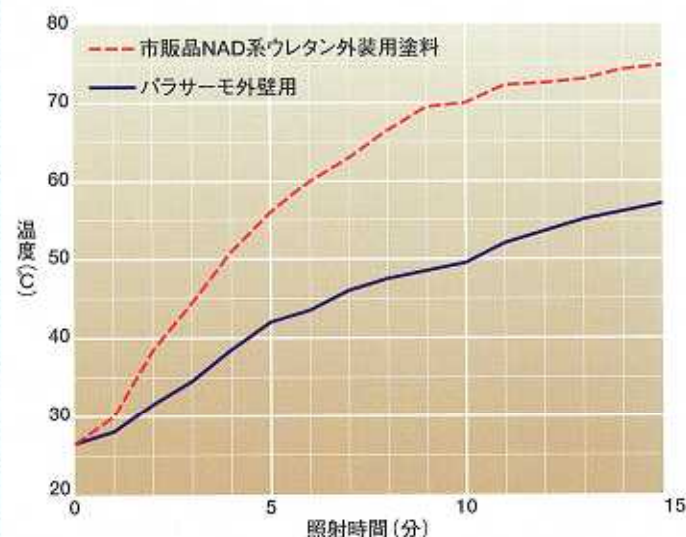
優れた防かび・防藻性をもつ特殊薬剤を配合。微生物の発生を抑えます。

室内ランプ照射試験の結果、市販品に比べ、スレート板の裏面温度を大幅に低減!!

■パラサーモ外壁用遮熱試験

試験用室内ランプを用い、一定の時間を照射した後のスレート板の裏面温度を測定しました。

※遮熱試験に使用した標準色はR-810Pです。

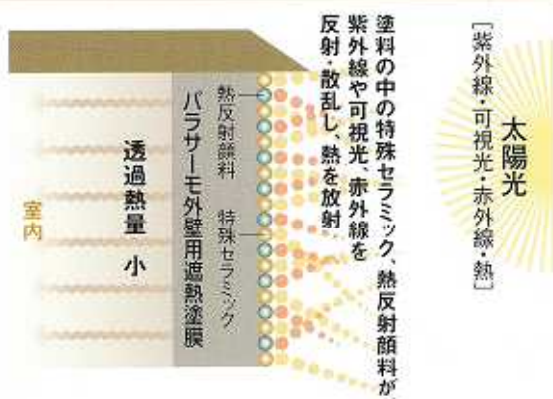


標準色のR-810Pを塗装した塗板を室内でランプ照射し、塗板の裏面温度を測定しました。市販のNAD系ウレタン外装用塗料は15分後に最高温度が75℃に達するのに対し、パラサーモ外壁用は57℃で、18℃の差が認められました。パラサーモ外壁用は市販品に比べて外壁面での遮熱効果が高いといえます。

このように
熱を
遮ります。

「パラサーモ外壁用」の遮熱メカニズム

- ①通常の塗膜では、太陽光スペクトルのうち、とくに熱作用の高い近赤外線を吸収するため温度上昇が大きいのにに対し、パラサーモ外壁用は配合された特殊な熱反射顔料や特殊セラミックが、熱作用の高い近赤外線を効率よく反射・散乱し、太陽熱の吸収を防ぎます。
- ②パラサーモ外壁用では、塗膜にいったん吸収された熱を特殊セラミックの働きにより熱放射します。
- ③これらの複合作用により、高い遮熱性能を実現します。



用途

- コンクリート・モルタル・金属面の塗装
- 複層仕上塗材のトップコート
- 防水形複層仕上塗材のトップコート
- スレート板、窯業系サイディングボード、無機ボードなどの塗装
- PC板・コンクリートパネルなどの塗装
- 改修工事のトップコート

荷姿

- パラサーモ外壁用……………15kgセット (A液:13.5kg B液:1.5kg)
- // ……………4kgセット (A液:3.6kg B液:0.4kg)
- シルビアEプライマー ……………16kgセット (A液:14.4kg B液:1.6kg)
- エポラマイルドプライマー ……16kgセット (A液:14kg B液:2kg)
- // // ……………4kgセット (A液:3.5kg B液:0.5kg)
- シルビアサーフ……………16kg
- エポラ#1プライマー ……………16kg
- シルビアEシンナー ……………16ℓ
- 塗料用シンナーA……………16ℓ

試験成績

低汚染ターベン可溶性ポリウレタン樹脂塗料(耐候形1種)

●塗料性状(A液)

試験項目	試験方法	成績
密度	比重カップ	1.16g/cm ³
粘度	B型粘度計	3500mPa・s/20℃
加熱残分	105℃×3時間	61.0%

●塗料性状(B液)

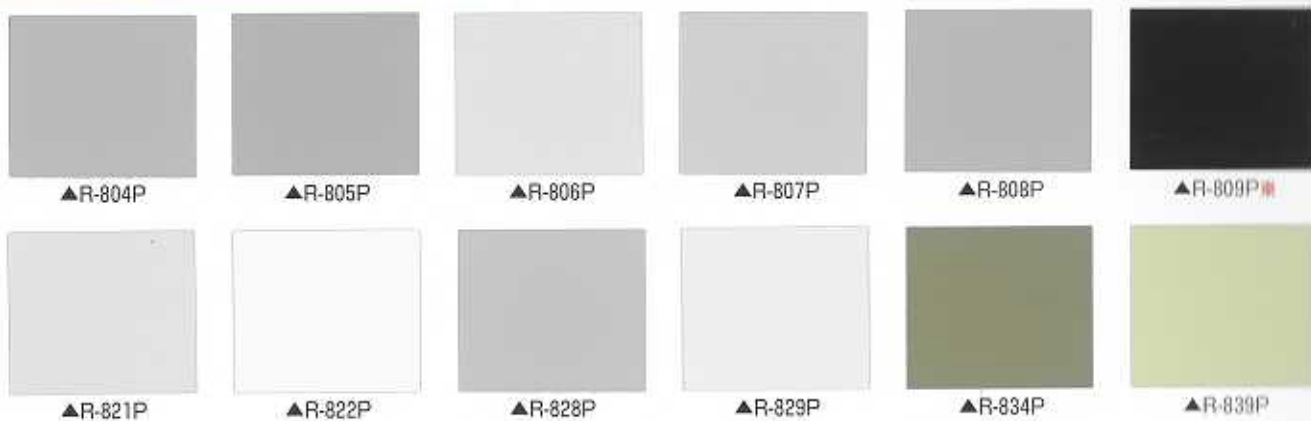
試験項目	試験方法	成績
加熱残分	105℃×3時間	50.0%

●塗膜性能

試験項目	試験方法	成績	
光沢	60°鏡面光沢度	85	
付着性	曇盤目テープ試験 2mm幅10×10	100/100	
乾燥時間	JIS K 5600 (23℃)	20分	
硬度	鉛筆硬度	H	
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし	
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム溶液 7日間浸漬	異常なし	
耐酸性	5%硫酸水溶液 7日間浸漬	異常なし	
耐温水性	60℃温水 7日間浸漬	異常なし	
温冷繰り返し試験	JIS A 6909複層仕上塗材 10サイクル	異常なし	
促進耐候試験	サンシャインウエザオメーター	500時間(光沢保持率)	94%
		1000時間(//)	86%
		2000時間(//)	83%
屋外暴露	南面30°暴露試験 2年	異常なし	
防かび試験	MIL変法 28日間	良好	
防藻試験	自社試験法 28日間	良好	
耐汚染性	南面30°暴露試験 2年	良好	

標準色

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



標準塗装仕様

※記載の仕様は標準塗装仕様です。塗装環境や塗装条件により、施工間隔などが変化します。

■パラサーモ外壁用新設標準仕様(コンクリート、モルタル、スレート板などの外壁)

工程	材料の割合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	●ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油分などの付着物は除去し、乾燥した清浄な面(含水率10%以下、pH10以下)にしてください。 ●不陸、目違いなどは補修調整してください。				
下塗	●シルビアEプライマー A液14.4kg ● // // B液 1.6kg ●シルビアEシンナー 3~5kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	8時間 (23℃)	0.10~0.12kg/㎡	4時間以上 (23℃)
上塗 (1回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	—

■パラサーモ外壁用改修仕様

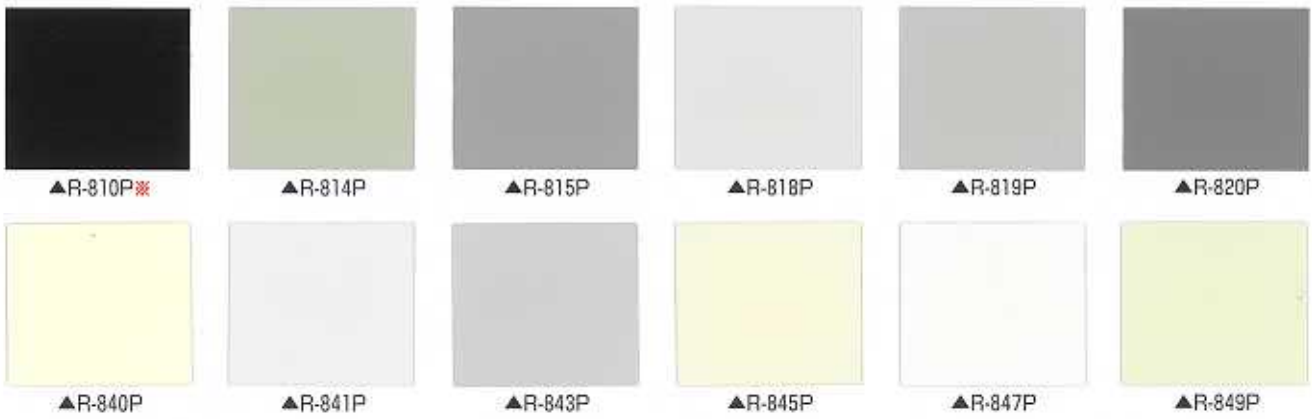
①上塗の塗り替え

工程	材料の割合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	●旧塗膜の浮き、剥がれ、脆弱部をケレン棒やサンダーなどの器具でケレンし、高圧水洗(水圧120~150kg/㎡)で被塗面を清掃し、十分に乾燥させてください。 ●不陸、目違いなどは補修調整してください。				
上塗 (1回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	—

②下地が劣化している場合

工程	材料の割合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	●旧塗膜の浮き、剥がれ、脆弱部をケレン棒やサンダーなどの器具でケレンし、高圧水洗(水圧120~150kg/㎡)で被塗面を清掃し、十分に乾燥させてください。 ●不陸、目違いなどは補修調整してください。				
下塗	●エポラマイルドプライマー A液14kg ● // // B液2kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.14~0.16kg/㎡	8時間以上72時間以内 (23℃)
上塗 (1回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	●パラサーモ外壁用 A液13.5kg ● // // B液1.5kg ●塗料用シンナーA0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	—

●※印のR-809PおよびR-810Pの2色は濃色につき、割高となります。



③ 下地の劣化が著しい場合

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●旧塗膜の付着力が0.5N/㎡以下の箇所はケレンして除去してください。 ●0.3mm以上のクラックはUカット、Vカットした後にシーリング処理を行なってください。それ以下のクラックの場合はシルビアサーフの原液を塗り込んでください。 ●旧塗膜の浮き、剥がれ、脆弱部をケレン棒やサンダーなどの器具でケレンし、高圧水洗(水圧120~150kg/㎡)で被塗面を清掃し、十分に乾燥させてください。 ●旧塗膜の剥離部や欠損部は仕上がりムラになる場合があるため、シルビアサーフの施工前に同材料で面揃え(柄合わせ)を行なってください。 ●不陸、目違いなどは補修調整して下さい。 				
中塗	<ul style="list-style-type: none"> ●シルビアサーフ 16kg ●水 0.3~0.6kg 	●中毛 ●ローラー	6時間 (23℃)	0.5~0.7kg/㎡	16時間以上 (23℃)
上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> ●パラサーモ外壁用 A液 13.5kg ● " " B液 1.5kg ●塗料用シンナーA 0~2kg 	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ●パラサーモ外壁用 A液 13.5kg ● " " B液 1.5kg ●塗料用シンナーA 0~2kg 	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	—

④ 一般鉄部の塗り替え

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化した塗膜はケレン工具で除去してください。 ●錆は、電動工具やサンダーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はブラシやシンナーなどで完全に除去してください。 				
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ●エポラ#1プライマー 16kg ●塗料用シンナーA 0~1.6kg 	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.13~0.17kg/㎡	4時間以上7日以内 (23℃)
上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> ●パラサーモ外壁用 A液 13.5kg ● " " B液 1.5kg ●塗料用シンナーA 0~2kg 	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ●パラサーモ外壁用 A液 13.5kg ● " " B液 1.5kg ●塗料用シンナーA 0~2kg 	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間 (23℃)	0.12~0.14kg/㎡	—

● 塗装時の注意点

- ①高圧水洗はノズル距離を正しくとり、確実に行なってください。また、水洗後は素地がよく乾燥してから塗装してください。
- ②希釈は、必ず指定のシンナーを使用してください。指定シンナー以外は粘度低下が激しかったり、本来の色艶がでない場合がありますのでご注意ください。また、過剰なシンナー希釈は色艶の低下や外観不良の原因になりますのでご注意ください。
- ③塗料の希釈割合は、塗料の温度や施工条件・施工方法によって異なります。事前に試し塗りを行なってください。
- ④5℃以下、40℃以上、湿度85%以上での塗装、また降雨や降雪、降霜が予測される場合は塗装を避けてください。
- ⑤本塗料は引火性の液体です。火気のないことを確認してご使用ください。また、塗装の際はよく換気してください。

「パラサーモ外壁用」取り扱い上の注意事項
(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器は、つり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所・出張所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 ●FAX(03)3913-6323
名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 ●FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 ☎(06)6386-8492 ●FAX(06)6338-3560
広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 ●FAX(082)423-8256
福岡営業所 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-4-31 ☎(092)781-6155 ●FAX(092)751-2278
平塚出張所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 ●FAX(0463)23-3739

■塗料事業本部 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6153 ●FAX(03)3913-6236

- 日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>
- ニットク・アメニティシステム連合会ホームページ <http://www.e-toso.net/>

■代理店